

平成 17 年 2 月 9 日
気 象 庁 予 報 部

配信資料に関する技術情報(気象編)第182号

～名古屋空港 (RJNN) 及び名古屋飛行場 (RJNA) 関連電文について～

平成 17 年 2 月 17 日 (木) をもって、名古屋空港が廃止され、同日付けで愛知県が設置管理する名古屋飛行場が供用開始されます。

このことに伴い、気象庁から提供している電文に変更がありますので、電文ヘッダについてお知らせ致します。

記

1 名古屋空港の廃止に伴い、提供が終了する電文について

ア 平成 17 年 2 月 16 日 (水) 2400JST を持って、これまで提供してきた以下の電文の提供を終了します。

イ 対象電文ヘッダ

電文の種類	冒頭符号	
TAF-L 報	FTJP31 RJNN	FTJP30 RJTD
TAF-S 報	FCJP31 RJNN	FCJP30 RJTD
飛行場警報	WOJP71 RJNN	クコウケイホク 1 ナゴヤコウク
飛行場気象情報	WOJP75 RJNN	クコウジヨウホク 1 ナゴヤコウク
METAR 報	SAJP RJNN	SAJP71 RJTD
SPECI 報	SPJP RJNN	
航空機気象観測報告	UAJP71 RJNN	
火山の噴煙に関する通報	SEXX72 RJNN	

(発信官署が RJTD の電文は、既に提供している編集報から地点を削除します)

2 名古屋飛行場 (RJNA) の供用開始に伴い、提供を開始する電文について

ア 平成 17 年 2 月 17 日 (木) 0000JST から、愛知県が観測業務を開始します。気象庁は以下の観測報を入手し、提供します。

イ 対象電文ヘッダ

電文の種類	冒頭符号
METAR 報	SAJP71 RJTD (既に提供している編集報へ地点を追加します)
SPECI 報	SPJP76 RJTD